

10/19/65

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv

01148270 **Image available**
PICTURE SYNTHESIZING DEVICE

PUB. NO.: 58-085670 [JP 58085670 A]
PUBLISHED: May 23, 1983 (19830523)
INVENTOR(s): SUZUKI ISAO
APPLICANT(s): FUJI XEROX CO LTD [359761] (A Japanese Company or
 Corporation), JP (Japan)
APPL. NO.: 56-183138 [JP 81183138]
FILED: November 17, 1981 (19811117)
INTL CLASS: [3] H04N-001/22; H04N-001/00; H04N-001/38; B41L-045/00;
 G03G-015/22
JAPIO CLASS: 44.7 (COMMUNICATION -- Facsimile); 29.4 (PRECISION
 INSTRUMENTS -- Business Machines)
JOURNAL: Section: E, Section No. 192, Vol. 07, No. 182, Pg. 39,
 August
 11, 1983 (19830811)

ABSTRACT

PURPOSE: To realize the reduction of labour, by reading a classification of gift of a gift article, which has been entered into a prescribed application form, reading out a term corresponding to its classification from a memory, discriminating it, synthesizing a pattern of said term and a pattern of a sender of the gift article, and recording its synthesized pattern in a form attached to the gift article.

CONSTITUTION: On a data input part 21 of a picture synthesizing device, an application form in which prescribed information has been written is placed, and information written in the application form by operating an operation panel is read by a reading part, then digitized, and stored temporarily in a data storage part 25. Subsequently, a term corresponding to a classification of a gift article written in the application form is read out by a mark reader 26, its term is discriminated, and its address is added to an image file 22. By this file 22, a character pattern corresponding to a term stored in advance is outputted, and is supplied to a page memory 27. Also, a sender's address indicated by the operation panel from an address designating part 28 is added to a memory 27 through the

C4
2082

storage part 25, an output control part 29 is controlled by a pattern synthesized by the memory 27, and both patterns are printed by a printer part 24.

⑯ 公開特許公報 (A)

昭58—85670

⑤ Int. Cl.³

H 04 N 1/22

1/00

1/38

// B 41 L 45/00

G 03 G 15/22

識別記号

1 0 5

1 0 5

庁内整理番号

7136—5C

8020—5C

7136—5C

6548—2C

7907—2H

⑬ 公開 昭和58年(1983)5月23日

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 画像合成装置

海老名市本郷2274番地富士ゼロ

ックス株式会社海老名工場内

① 特 願 昭56—183138

② 出 願 昭56(1981)11月17日

③ 発 明 者 鈴木勲夫

④ 出 願 人 富士ゼロックス株式会社

東京都港区赤坂3丁目3番5号

⑤ 代 理 人 弁理士 山内梅雄

明 細 書

1. 発明の名称

画像合成装置

2. 特許請求の範囲

所定の様式で記入された申込書の内容を読み取る読取手段と、前記手段により読み取られた内容から、贈答用品の贈答の種別を判別する判別手段と、贈答の種別を示す用語のパターンを予め記憶しているメモリと、前記判別手段により判別された贈答の種別に対応する前記メモリ内の用語のパターンと、前記読取手段により申込書から読み取られた贈答用品の送り主の名前のパターンとを、それぞれのし用紙に記入すべき位置に対応付けて合成するパターン合成手段と、パターン合成手段により合成されたパターンを用紙に記録し、記入済のし用紙を作成するプリント手段とを具備することを特徴とする画像合成装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は画像の合成を行ってこれをプリントアウトする画像合成装置に係わり、特にのし用紙に

使用される贈答の種別を示す用語を選択的に印字することのできる画像合成装置に関する。

商店あるいは百貨店では、贈答品用にのし用紙を用意しており、客の注文に応じて、これに“御中元”、“内祝”等の贈答の種別を示す用語の記載を行っている。用語の記載は原則として筆書きによるが、これは事務能率を低下させるばかりでなく、記載された文字の品位がその店の対外的評価の一面ともなるので、この意味で人員を整備することが困難であるという問題があった。このために贈答用品を大量に扱う店では、“御中元”等の用語を印刷したのし用紙を用意するところもあった。しかしながらこの場合には、贈答の種別を示す用語が多いので、のし用紙の種類も多く、これらの用紙を管理することが困難であった。また極めてまれにしか使用しない用語を印刷したのし用紙は、用紙の変質汚れ等により、必要とされたとき使用が不可能とされる場合が多く、更に、印刷の単価も割高となるという欠点もあった。そこで一部の店舗では“御中元”等の用語を刻んだ印

CY
1092

判を用意し、これをのし用紙に押していた。ところが印判を用いると毛筆に似た書体を細かく再現することが困難となり、贈答品に使用するのし用紙としての品位の低下はまぬがれず、場合によっては贈答先に失礼に当ることがあった。

本発明はこのような事情に鑑みてなされたもので、贈答の種別を示す用語を毛筆と同等の風格のある文字でのし用紙に再現すると共に、送り主の名前もこれに併記させることのできる画像合成装置を提供することを目的とする。

本発明では、第1図に示すように、申込書1に記載された贈答の種別と送り主の名前のうち、贈答の種別を画像合成装置2で判別させ、その内部に設けられたメモリ3から、該当する用語の文字パターンを発生させる。また送り主の名前のイメージについては、同じく画像合成装置2で読み取らせ、その内部でこのイメージと前記文字パターンとを合成させる。このようにして得られた合成画像は、画像合成装置2内に入力されたのし用紙4に記録され、記入済みのし用紙5として出力さ

れ、これにより前記した目的が達成される。

以下実施例につき本発明を詳細に説明する。

第2図は画像合成装置の外観を表わしたものである。画像合成装置2は、外形上分離された2つの装置部分から構成されている。図で右側に位置する装置部分には、プラテン21Aをその上面に配置したデータ入力部21および各種用語のイメージを記憶したイメージファイル22その他のデータ処理機構が備えられている。また図で左側に位置する装置部分には、各種操作を行う操作盤23と、合成された画像の出力を行うプリンタ部24その他の機構が備えられている。

この装置の動作を、装置の要部を示した回路図(第3図)と共に次に説明する。

装置の扱者は、所定の「申込書」をプラテン21A上に配置した後、操作盤23を操作し、装置の動作を開始させる。これと共にデータ入力部21は、その下方に配置された図示しない蛍光灯を副走査方向にスキャンさせ、同じく図示しないイメージセンサにより画情報の読み取りを行う。このよう

にして得られたビデオ信号は、ディジタル化された後、画データ31としてデータ記憶部25に供給される。

第4図は装置に入力される「申込書」の一例を示したものである。申込書1には、図で右上部分に識別欄11が、また中央部分に横一列に名前欄12が設けられている。識別欄11は、上下2段となっており、上段には「御中元」、「内祝」等のように贈答に使用される用語が、所定の間隔で多数記載されている。下段は空欄となっており、希望する贈答の種別にマークを記すようになっている。例えば御中元用に贈答を行う場合には、識別欄11の「御中元」と印刷された用語の下空欄にマーク6を記すこととなる。名前欄12は、幅3cm、長さ6cm程度の縦長の5つの空欄により構成されている。ここには送り主の名前が原則として本人の筆書きにより記入される。空欄が複数設けられているのは、同一種類の贈答について申込書を共用するためであるが、同一の名前を複数通り記載し、このうちで最も品位の高い文字を選

択させることも可能である。

さてデータ入力部21の動作により、第4図に示す申込書1が読み取られたとすると、マークリーダー26はデータ記憶部25から、識別欄11の下段に相当する部分の画データ32の読み出しを行い、マーク6の記入されている用語を判別する。画信号の読み出されたアドレスと対応付けることにより、この場合には、「御中元」という用語が判別されたこととなる。マークリーダー26は用語の判別結果をアドレス情報33としてイメージファイル22に供給する。

イメージファイル22には、贈答に使用される各種用語のパターンが記憶されている。これらは、毛筆による書体を忠実にパターン化したものである。アドレス情報33が供給されると、イメージファイル22内の該当するアドレスのメモリ領域がアクセスされ、所望の用語パターンについてのビデオ信号34が出力される。ビデオ信号34は、ページメモリ27内の所定のメモリ領域に、イメージとして書き込まれる。このメモリ領域は、の

し用紙4(第1図)における、用語の記載位置に対応する領域である。第4図に示した申込書1の場合には、ページメモリ27内に“御中元”という用語が書き込まれることとなる。

一方、データ記憶部25に画データ31の入力が完了すると、アドレス指定部28は、申込書の名前欄12(第4図)のうち操作盤23(第2図)により指示を受けた名前の箇所を表わしたアドレス情報35を出力する。データ記憶部25はアドレス情報35の供給を受け、その名前の箇所のメモリ領域の読み出しを行う。これにより指示された名前のパターンについてのビデオ信号36が出力される。ビデオ信号36は、ページメモリ27内の他の所定のメモリ領域に、イメージとして書き込まれる。このメモリ領域は、のし用紙4(第1図)における、名前の記載位置に対応する領域である。第4図に示した申込書1で、名前欄12の左端に位置する名前が指示された場合には、“鈴木”という手書の名前のパターンが書き込まれることとなる。

このようにしてページメモリ27に、贈答の種類を示す用語と送り主の名前が書き込まれると、出力制御部29はページメモリ27からビデオ信号37の供給を受け、プリンタ部24を制御してプリント動作を行わせる。プリンタ部24は、例えば感熱プリンタにより構成されており、のし用紙4(第1図)の水引きの部分のみを予め印刷した感熱記録紙に対して感熱記録を行う。この結果、操作盤により指定されたプリント枚数だけ、用語および名前の記入されたのし用紙5(第1図)が得られる。

以上のプリント動作が終了すると、装置の扱者が申込書の名前欄12に記載された次の名前を操作盤23で指定することにより、この名前による次ののし用紙のプリントが行われる。この場合には、ページメモリ27における名前についてのメモリ領域のみが、事前に書き換えられることとなる。以下同様である。

このように本発明によれば、贈答の種類を示す用語を印字した品位の高いのし用紙を、短時間に

大量に作製することができ、事務能率を大幅に改善することができる。

なお実施例では感熱記録方式で記録を行ったが、これに限定されるものではない。例えばインクジェット方式で記録を行えば、水引を実際に取り付けたのし用紙に用語等を記録することが可能である。また実施例では、申込書で贈答の種類を示す用語の選択のみを行ったが、これに加えて文字種や文字の大きさを選択させることができることもいうまでもない。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明による記入済ののし用紙を作成する原理を示す原理図、第2図～第4図は本発明の一実施例を説明するためのもので、このうち第2図は画像合成装置の外観図、第3図は装置の要部の回路構成を示すブロック図、第4図は申込書の記入例を示す平面図である。

- 1 …… 申込書
- 2 …… 画像合成装置
- 4 …… のし用紙

5 …… 記入済ののし用紙

11 …… 識別欄

12 …… 名前欄

21 …… データ入力部

22 …… イメージファイル

24 …… プリンタ部

25 …… データ記憶部

26 …… マークリーダー

27 …… ページメモリ

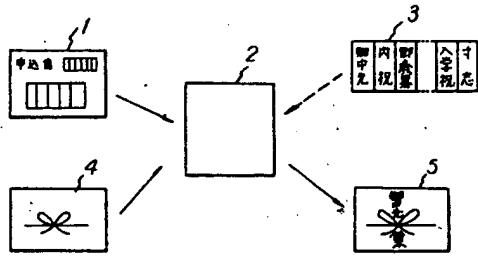
出 願 人

富士ゼロックス株式会社

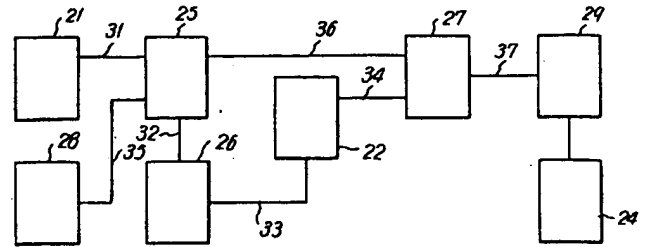
代 理 人

弁理士 山 内 梅 雄

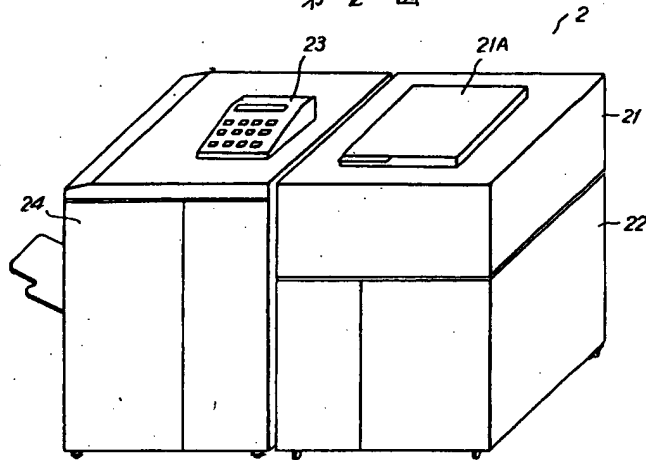
第 1 図



第 3 図



第 2 図



第 4 図

